

令和 5 年 11 月教育委員会定例会議事録

- 1 日時 令和 5 年 11 月 14 日（火）午後 2 時 30 分から
- 2 場所 鈴鹿市立大木中学校 1 階 会議室 1
- 3 出席 教育長（廣田隆延）
教育委員会委員（下古谷博司，山中秀志，松嶋康博，笠井智佳）
- 4 議場に出席した職員
教育委員会事務局教育次長（伊川歩），教育委員会事務局参事（三浦洋子），参事兼教育総務課長（鈴木明），学校教育課長（藤見忠），教育支援課長（津田由美子），参事兼文化振興課長（中川勝規），書記（木葉健介），書記（久住孝大）
- 5 議事
（1）令和 5 年度鈴鹿市教育費第 5 号補正予算案について（教育総務課）
- 6 報告事項
（1）「令和 6 年鈴鹿市二十歳のつどい」について（文化振興課）
- 7 その他
（1）令和 5 年 12 月教育委員会定例会の開催について（教育総務課）
- 8 傍聴人 4 名

（教育長）皆様，こんにちは。定刻となりましたので，ただ今から令和 5 年 11 月教育委員会定例会を開催します。

本日の議事録署名委員は，下古谷委員にお願いいたします。

なお，本日は大木中学校での開催でございます。校長先生を始め，教職員の方々におかれましては，御協力ありがとうございます。また，学校運営協議会，PTA の関係者の方々におかれましては，お忙しいところ，傍聴いただき，ありがとうございます。どうぞ，よろしくお願いいたします。

それでは，議事に入ります。議案第 2095 号「令和 5 年度鈴鹿市教育費第 5 号補正予算案について」をお諮りします。

（書 記）議案を朗読

（参事兼教育総務課長）提案理由でございますが，地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 29 条の規定に基づき，市長から意見を求められた令和 5 年度鈴鹿市教育費第 5 号補正予算案について，教育委員会の議決を得るため，この議案を提出いたします。

(参事兼教育総務課長) それでは、私からは「令和５年度鈴鹿市教育費第５号補正予算案」について、はじめに、教育費全体の補正予算案について説明申し上げ、その後、補正に係る事業について説明を申し上げます。

まず、第５号補正予算案につきましては、１２月市議会定例議会へ提案するために、予算編成過程としまして９月に各課にて見積書を作成し、財政課へ提出をしております。その後、予算要求内容についてヒアリングを受け、政策経営部長査定、副市長査定を経て１１月上旬に、最終、市長査定を受けたものでございます。議案書の２ページを御覧ください。まず、「１ 教育費 補正額」でございますが、補正前の額は、８４億９,４０３万２千円でございます。今回の補正は、２,２７０万４千円の増額をお願いするものでございまして、補正後の額は、８５億１,６７３万６千円となります。

次に、財源内訳でございますが、全て一般財源でございます。補正予算案全体に関する説明は以上でございます。

続きまして、補正を要する事業の内容でございますが、「２ 教育費補正額内訳」を御覧ください。各費目における補正の内容は、御覧のとおり、全て人件費でございます。人事院勧告による給与改定のため、増額補正をお願いするものでございます。説明は以上でございます。

(教育長) ただ今の議案に御質問、御意見がございましたら、お伺いしたいと思います。

(笠井委員) 人員を新たに増やしたのではなく、給与の見直しに伴う増額ということでしょうか。

(参事兼教育総務課長) 職員数について変更はありません。人事院勧告に伴う給与改定による増額でございます。

(教育長) それでは、御意見もないようですので、お諮りします。議案第２０９５号「令和５年度鈴鹿市教育費第５号補正予算案について」を原案のとおり承認することに御異議はございませんでしょうか。

(委員一同) 異議なし

(教育長) 御異議がないようですので、議案第２０９５号を原案のとおり承認いたします。

続きまして、報告事項に移ります。報告事項１番目の「令和６年鈴鹿市二十歳のつどい」をお願いいたします。

(参事兼文化振興課長) それでは、私からは報告事項の１番目「令和６年鈴鹿市二十歳のつどい」につきまして、説明申し上げます。資料の１ページを御覧ください。

まず、開催日時でございますが、令和６年１月７日（日）午後１時受付開始、２時に式典を開始し、３時に終了予定でございます。開催場所は、イスのサンケイホール鈴鹿

(市民会館)で開催させていただきます。

次に、対象者でございますが、9月30日現在で、男性1,101人、女性982人の合計2,083人でございます。なお、昨年はAGF鈴鹿体育館にて開催し、対象者2,136人に対しまして、参加者数は1,101人と対象者の51.5%の方が参加されました。令和6年鈴鹿市二十歳のつどいも同様の参加者を見込んでおり、イスのサンケイホール鈴鹿の固定席は1,275人ございまして、サブ会場として2階の展示室(約200人)を用意しております。対象者の方への周知につきましては、令和5年11月1日現在で、鈴鹿市に住民登録をされている方へ12月上旬に案内通知を送付の予定でございます。住民票が本市になく、鈴鹿市二十歳のつどいへの参加を希望される方につきましては、文化振興課まで連絡いただければ、案内状を送付させていただきます。二十歳のつどい当日は、案内状を持参いただき、お持ちでない方につきましては、当日受付で記帳をしていただく予定でございます。内容につきましては、記載のとおりでございます。

また、二十歳のつどい実行委員は、女性3名、男性4名の計7名が公募により集まり、6月から既に6回の実行委員会を重ね、テーマやイベント内容を検討してきたところでございます。令和6年二十歳のつどいの実施にあたってのテーマは、「自分色に飛べ!」でございます。テーマには、自分の特色を出し、様々な場所で活躍できるような人になるという思いが込められています。私ども、文化振興課としましても、実行委員の思いが実現できるよう、本番当日まで一緒になって取り組んでまいります。

続いて、2ページを御覧ください。出席の御案内をさせていただく御臨席者の皆様でございます。なお、教育委員の皆様には、改めて御案内をさせていただきますので、是非、御臨席を賜り、二十歳の門出をお祝いいただきますようお願いを申し上げます。以上で報告とさせていただきます。

(教育長)ただ今の報告に御質問、御意見がございましたら、お伺いしたいと思います。

(笠井委員)確認ですが、資料2ページに記載がある二十歳のつどいが中止となった場合の対応ということで、色々な公示方法が書いてありますが、今年度は、コロナが第5類になったので、それが原因で中止になることはないと思いますので、例えば、大雪や暴風警報などの気象的な問題以外の要因で、中止を想定することはないと考えてよいでしょうか。

(参事兼文化振興課長)委員のおっしゃるとおりです。

(下古谷委員)内容のところの1つ目に、プロジェクションマッピングが予定されていますが、どちらにプロジェクションマッピングをするのですか。

(参事兼文化振興課長)以前、市政80周年の記念式典をイスのサンケイホール鈴鹿で開催させていただき、その際に使用した内容を一部変更して行いたいと考えております。場所は、館内ホールのスクリーンに向けて、プロジェクションマッピングするというのを考えております。

(下古谷委員) 例年、イスのサンケイホール鈴鹿で開催した際に、参加者の方が入口付近に集まり、係の方が入場の誘導をしても入場してくれない状況がありました。ホールには1,275名が収容できるにも関わらず、そこまでは入場されずに終わっていくようなことが多かったと思いますが、その対策は考えていますか。

(参事兼文化振興課長) このことについては、旧成人式から二十歳のつどいに至るまで、従来からの課題であります。開催場所が市民会館、鈴鹿サーキット、去年のAGF鈴鹿体育館でも同様の状況でした。教育委員会の方も含め、多くの職員を動員し、拡声機等で御案内をしておりますが、無理やり入っていただくようなことはできませんので、できる限り入場をしていただけるような御案内を一生懸命させていただき、多くの方に参加していただけるような式典にしたいと考えております。

(山中委員) 例年、実行委員会形式で開催されていますが、実行委員の挨拶などを聞いていても、非常にしっかりした方で感心しています。実際には、実行委員を募集する場合に、担当課としては苦勞されているのでしょうか。

(参事兼文化振興課長) おっしゃるとおりです。広報で周知しているのですが、なかなか集まっていだけないところがあります。1人が参加していただくと、そのお友達を通じて連絡していただき、そういった繋がりでも今回も7名の方に集まっていただくことができましたが、例年、募集に苦勞しているのは事実です。

(笠井委員) 昨年がAGF鈴鹿体育館、その前は鈴鹿サーキットで開催されていたため、今回のイスのサンケイホール鈴鹿では、久しぶりの開催場所であると思います。当日は多くの送迎の車が集まることになりますが、以前、こちらの場所で開催していた際の交通渋滞の状況を教えてください。

(参事兼文化振興課長) ここは神戸の街中のため、信号機もあり、道路が2車線ではなく、渋滞が予想されますので、この辺りには警備員の配置をさせていただきます。看板の案内や駐車場の送迎車が流れるように、警察ともルートについて相談させていただいているところです。過去には、長らく市民会館で開催されていたので、そのノウハウとして過去の状況を確認しながら、可能な限り渋滞を少なくするために検討をしているところです。

(松寫委員) 私が参加した4回の式典では、毎年、その当時の先生方のメッセージ等々がありましたが、今回はその内容は入っていますか。

(参事兼文化振興課長) 実行委員の方とお話をさせていただく中で、例年、自分の出身校でない中学校を周る負担が大きいこともあり、今回は、この恩師のビデオレターは無くなる方向であり、その代わりにプロジェクションマッピングとよさこいを予定しています。よさこいは、実行委員からの紹介であり、それ以外にも、今回のテーマは、「自分色に飛

べ！」ということです。紙飛行機か何かを折って、思いや願いを込めて皆で飛ばすというパフォーマンスを考えているところです。

(松脇委員) 実は、この質問をした背景として、先ほど申し上げたように、毎回パターンが同じになっていると感じていました。おそらく、実行委員会が立ち上がった1回目の打合せ時などに、過去の内容を紹介されることで、実行委員会が影響を受けているかもしれないと少し感じていました。今回、恩師からのビデオレターが内容に入っていなかったのも、実行委員会メンバーの主体性が出る内容になることは、素晴らしいことだと思いますので、このような質問をさせていただきました。

(参事兼文化振興課長) 今回は、実行委員の方から先ほど申し上げたような御意見がありましたので、ビデオレターは無くなり、ここにお示しした内容となっております。

(教育長) 座席の方は、校区ごとで大体区切るのですか。

(参事兼文化振興課長) 特に、鈴鹿サーキットの時は会場が広いため、校区ごとで区切っていたのですが、今回のイスのサンケイホール鈴鹿に関しましては、校区で分ける必要はないという判断をしておりますので、分けることは考えていません。

(教育長) 二十歳のつどいは、中学校の同窓会のような雰囲気もありますので、校区ごとに座席を区切っていることをお知らせすることで、同じ校区の子たちが集まっていると分かれば、積極的に中に入る子たちもいると思いますので、今後の参考にしていただければと思います。

(下古谷委員) よさこい（予定）とありますが、これは、「勝山組」あたりが出てくるような予定でしょうか。

(参事兼文化振興課長) 現在、実行委員の方で出演交渉中のため、予定になるのですが、「勝山組」ではございません。

(教育長) 御意見もないようですので、その他事項に移ります。

(教育長) 「令和5年12月教育委員会定例会の開催について」をお願いします。

(参事兼教育総務課長) 令和5年12月定例会でございしますが、令和5年12月18日（月）午後2時から鈴鹿市役所11階教育委員会室において、開催したいと存じます。

(教育長) ただ今の提案に、御異議ございませんでしょうか。

(委員一同) 異議なし

(教育長) 御異議がないようですので、令和5年12月教育委員会定例会を令和5年12月18日(月)午後2時から鈴鹿市役所11階教育委員会室において開催することにいたします。

(教育長) 以上をもちまして、令和5年11月教育委員会定例会を終了いたします。ありがとうございました。

11月教育委員会定例会終了 午後2時51分

以上会議の顛末を録し、ここに署名する。

教育長 廣田 隆延

委員 下古谷 博司